

～今月の読み物～

「木は地球を救う」 — 2
— 二酸化炭素を固定し循環する —細田木材工業(株)
相談役 細田 安治

◇木材業界に強力な支援

山に降った雨は森を育て里を潤し海の魚を育てる。やがてまた雨となって山に降り注ぐ好循環だ。日本の山が、世界の山が地球を救う役割を果たしている。つないでいるのは「木材や」であるとした。

「木材や」は植えて、育て、伐って、運び、形を変えて都市で再生する好循環を担っている。しかしながら、山元の人手不足のため、森に苗木を植え、育て、伐採する好循環が滞りがちである。森林の整備、林業の技術開発、共同施業体制などの遅れについて、強力なてこ入れが必要である。

森林整備が進まない主な原因の一つに、不在山持ちや、不採算の為手を入れず放りっぱなしにしてある放置林だ。

具体的には林野庁が地元市町村を通じて、これらの森林を、意欲ある林業者に委託し森林を整備する「森林バンク」制度の導入である。このことは木材業界の長年にわたる悲願であり、業界をあげて国に働きかけ支援を求めている。

◇森林環境税の創設

このたびの平成18年度税制改正により「森林環境税」が創設された。2024年施行の予定だが長年にわたる運動の成果であり、今までにはなかった前へ進むアクティブな政策として注目されている。報道によれば1人当たり1,000円を集積すると約6億円が財源となる。国民が森林の持続的成長のために、森林を整備するということは、地球を救うことに繋がる。即ち、毎年6億円の財源が森林を整備されるのにどのように使われるか？を我々「木材や」は、持続可能な森林の維持、即ち「木は地球を救う」の具体例を国民に周知させる絶好の機会であり、国民とともに徹底的に議論し、「木材や」の業界をあげて総ぐるみで、世論を起し周知を図らねばと思う次第です。このきっかけをつくられた関係団体の、尽力のおかげさまと、敬意と熱い感謝を申し上げます。



◇持続可能な開発目標 (SDGs)

1月8日付「朝日新聞」の一面にSDGs五輪を目指す東京と銘打ち、オリ・パラを通じて「環境と人権」

を大切にする流れを広げよう、と17品目を掲げている。要点をご紹介する。

SDGsとは、Sustainable Development Goals、「持続可能な開発目標」貧困の撲滅や格差の解消、環境保護などで17分野の目標があり、2030年が達成期限。2015年に国連で全会一致で採択された。日本は気候変動への対応などの分野で課題が多いと指摘されている。(1月8日付「朝日新聞」参照)

主なものは13番で、「気候変動に具体的な対策を」温室効果ガスの削減や・・・14番で「海の豊かさを守ろう」・・・15番で「陸の豊かさを守ろう」森林減少の阻止、生物多様性を含む生態系を保全としている。

国際オリンピック委員会 (IOC) は、大会運営をSDGsに沿った基準を求め、大会組織委員会も「史上最高に持続可能な大会」を目標に掲げている。15年に国連が採択して以来初めての大会となる。

◇建設資材と食材

「木材」「農産物」「畜産物」「水産物」では基準ができています。ここで取り上げるのは「木材」の建設資材の分野に限り説明する。



◇調達基準

環境と、生産地で働く人や、先住民の人権を重視、木材は

1. 伐採で、生態系を崩さぬこと、
2. 地域住民の権利への配慮を義務づけている

◇脱炭素五輪へ運営計画

組織委員会は調達基準のほか、「持続可能性に配慮した運営計画」の第2版を6月までにつくるとしている。自然エネルギーを増やしたり、排出量取引制度を使ったりして、二酸化炭素(CO₂)の排出量を実質ゼロにする「脱炭素五輪」を目指す。再利用やリサイクルの推進も盛り込む方針である。

◇課題

一部では熱帯林から伐採した木材を使ったコンクリート型枠合板の使用が課題として浮上した。「地球を救う」ために山を守るために、山の本で作った国産材合板を使用せねばならない。

木がここまで注目されている。

- ・森林環境税で森林バンクを創設し山に毎年6億円を投じて山を整備する。
- ・「オリ・パラ」では持続可能な開発目標(SDGs)の運用でCO₂の排出量を減らす。木は、有毒ガスを固定し、水を吸い上げ、山を守る。
- ・パリ協定

全世界的には、「産業革命前からの気温上昇を2度未満にすることを目的とし、できれば1.5度未満に抑え」今世紀後半に温室効果ガスの排出をゼロにする。

日本では温室効果ガスの65.2%を占めるCO₂削減対策として、2030年までに26%削減し2050年には80%削減の目標を掲げている。現在のCO₂の排出量は13.11億トンで、ここから26%削減することが目標だ。

2013年に森林が吸収したCO₂の量は、1億トンといわれている。この吸収量は自家用自動車のCO₂排出量のほぼ7割である。森林の機能は、長年の適正な森林管理によって実現されるもので「植える⇒育てる⇒伐採する⇒植える」の森林サイクルを構築することで実現可能となる。このように森林は実に大きな役割を担っていることをここに改めて強調しておく。

◇森林サイクル

木は時が来れば、有毒ガスを固定したまま伐り倒され、主を変え形を変え街へ出る。木材を建築などに使用することにより、CO₂排出量の削減と森林保全に貢献している。毎年多くの建築構造材、仕上げ材、仮設材、家具などに木材を使用している。「木材や」の果たす役割は大きく地球環境の改善に大きく貢献している。

◇木は都会の人々に、心地よさをもたらす木の街をつくる

日本は国土の約67%の2500万haが森林である。森林の蓄積量は天然林約20億m³、人工林約30億m³合計50億m³である。森林が吸収するCO₂は年間1億トンである。1m³当たり0.02トン即ち20kgだ。計算すればどれだけCO₂を固定し地球を救う仕事をしていることになります。



最後にもう一度「木を使うことは地球を救うこと」我々「木材や」は木を使う仕事に、更なる誇りをもって仕事をしていきましょう。 完